

次期 OS の Windows10 について

Microsoft は次期 OS の Windows10 を 2015 年の後半にリリースすると発表しています。2014 年 10 月にはその Technical Preview 版を一般公開していますので、インストールしてマウス・キーボードで使ってみました。

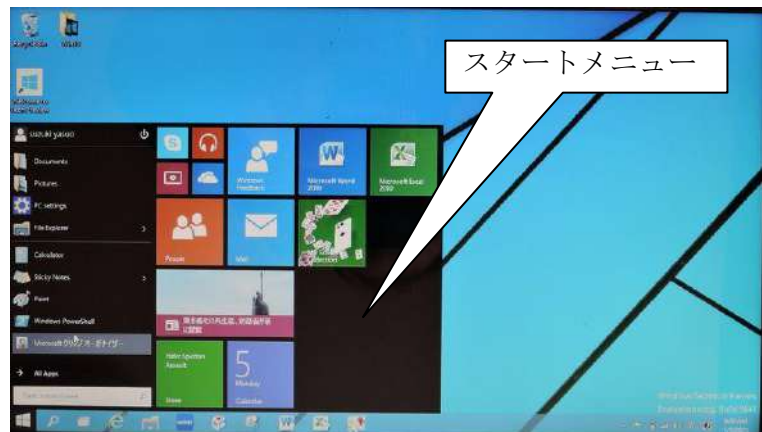
ただし、現時点では開発途上ということで今後大幅に変更することが予想されます。

1 スタートメニューの復活

まず起動して Sign in しますとデスクトップ画面が開きます。



デスクトップ画面でタスクバー左端の「Windows ボタン」をクリックするかまたはキーボードの「Windows キー」を叩きますと、デスクトップ画面の左下部分に新しいスタートメニューが表示されます。



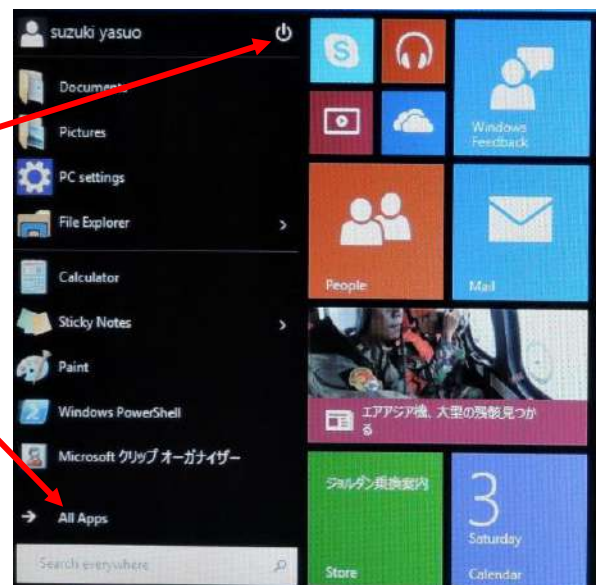
このスタートメニューの左半分は Windows7 のスタートメニューのような内容で、右半分は Windows8 のスタート画面と同様のタイルが並んだ内容です。

電源ボタン

全てのアプリ

スタートメニュー左側の「すべてのアプリ」をクリックしますと、現在インストールされているすべてのアプリがスクロールバーとともに表示されます。

左側のアプリをドラッグアンドドロップで右側にタイルとして表示することができます。



またストアアプリの画面で Windows8/8.1にあったナビゲーションバーやアプリバーは、アプリのウィンドウ上で右クリックすると表示されます。

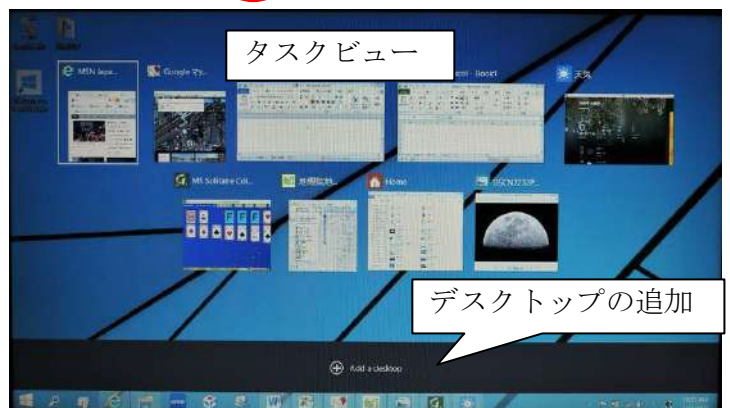


3 複数のデスクトップを切り替えて使うタスクビュー機能

タスクバーの左から三つめに「タスクビュー」という新しいボタンが追加されています。

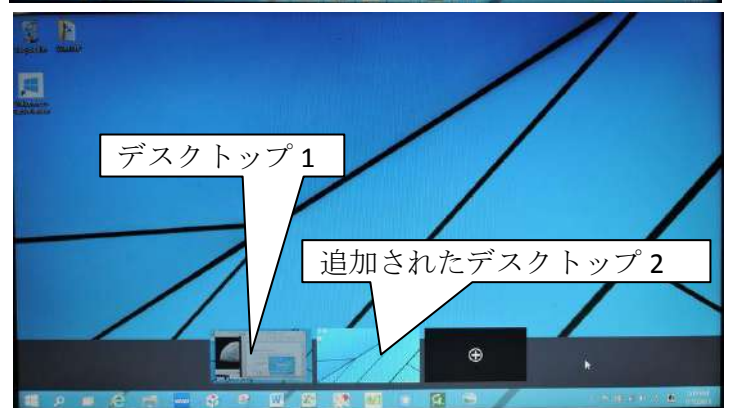


複数のウィンドウを開いた状態でこのボタンをクリックすると、デスクトップ上に現在開いているウィンドウをサムネイル表示した「タスクビュー」が開きます。



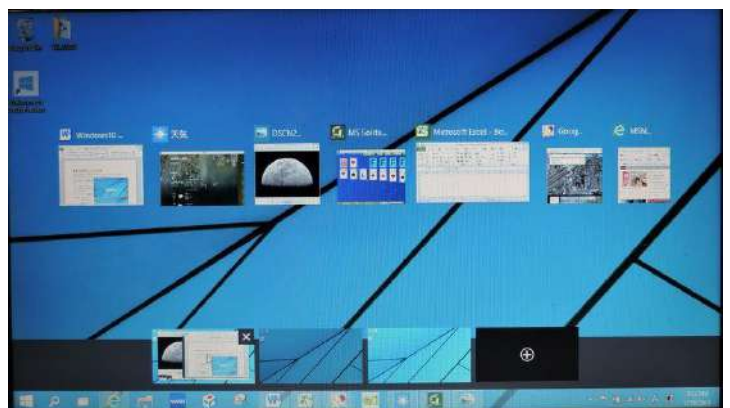
画面の下には「デスクトップの追加」が表示されています。

「デスクトップの追加」をクリックするとデスクトップがサムネイル表示で並び、その右端には「デスクトップの追加」ボタンがあります。



クリックするとウィンドウのサムネイルは消えて、新しいデスクトップのサムネイルが追加されます。

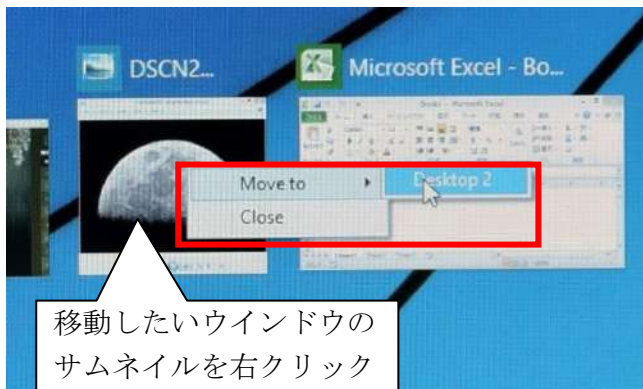
この画面でデスクトップの一番左のボタンをポイントすると、最初に開いたデスクトップ 1 のウィンドウがサムネイル表示されます。



使いたいウィンドウのサムネイルをクリックすると、クリックしたウィンドウを最前面にしてすべてのウィンドウが開きます。

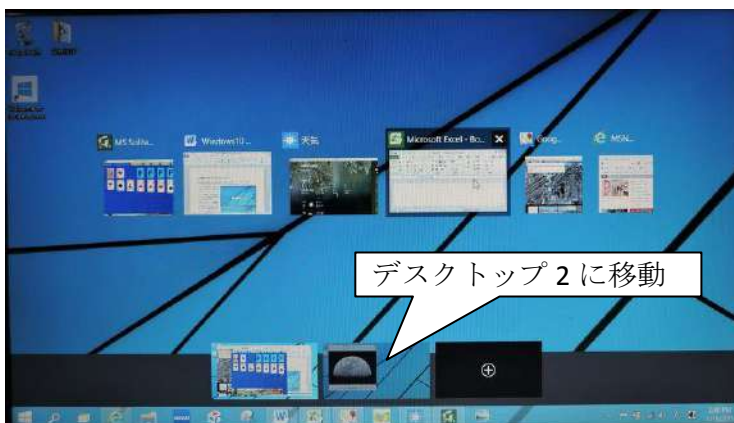


またデスクトップ間でウィンドウを移動することができます。「タスクビュー」ボタンをクリックし、たとえば左端のデスクトップ1をポイントしてウィンドウをサムネイル表示し、移動したいウィンドウ上で右クリックしてショートメニューの「移動」をクリックし、移動先のデスクトップ番号をクリックします。



すると移動したいウィンドウは消えて移動先のデスクトップ2に移動します。

デスクトップ2をクリックすると、ウィンドウのサムネイルがデスクトップ2上に現れます。



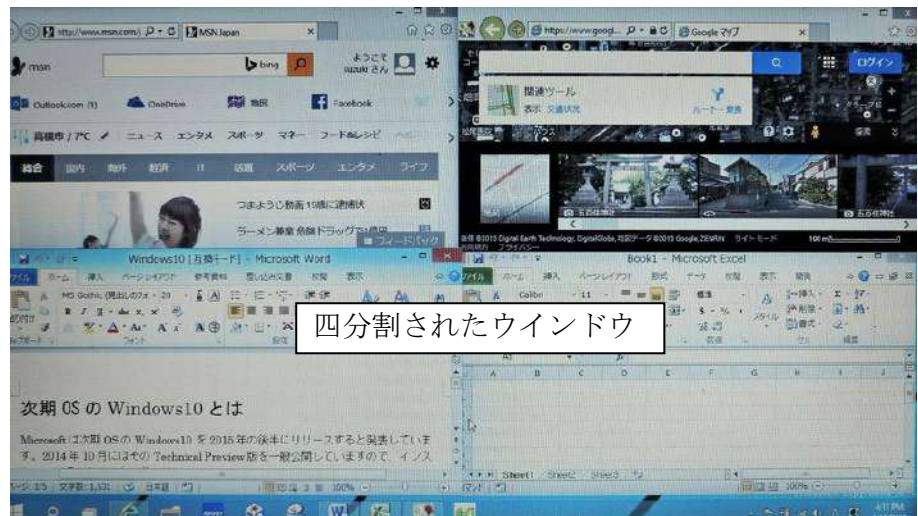
このようにタスクビュー機能ではたくさんのウィンドウを表示して切り替えながら作業をするとき、デスクトップを追加してウィンドウを整理し、ウィンドウの切り替えを快適に行うことができるようになりました。



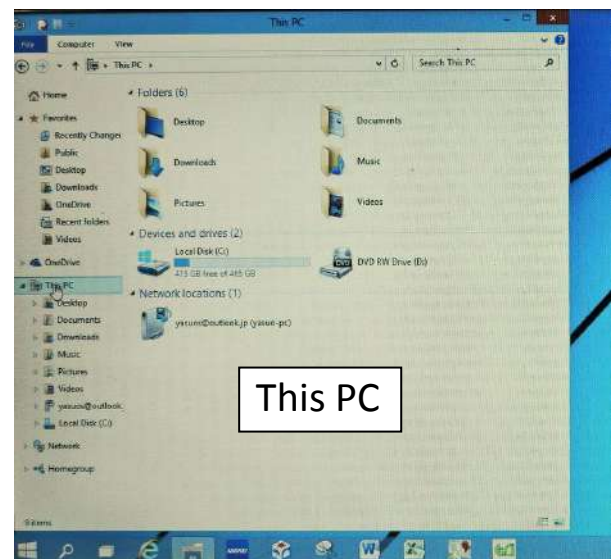
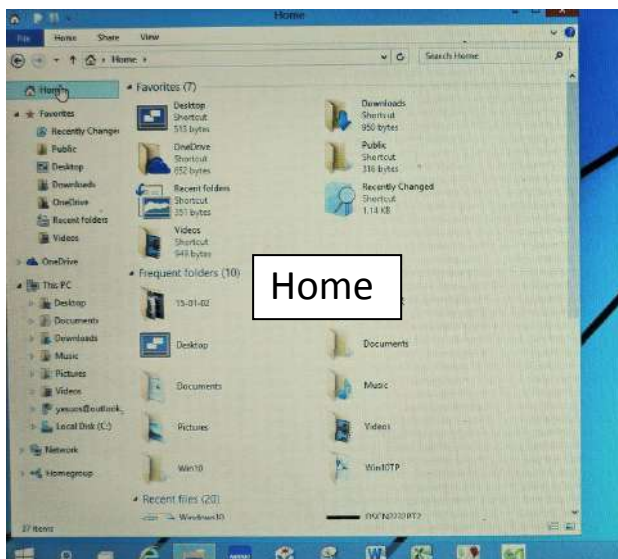
4 その他の変更点

- ① ウィンドウを整列する機能は従来の2分割から4分割ができるようになりました。

開いているウィンドウのタイトルバーをデスクトップの四隅にドラッグすると、4分割表示になります。



- ② またエクスプローラーのナビゲーションウィンドウの一番上に「ホーム」が追加され、「ドキュメント」やCドライブなどはナビゲーションウィンドウ中ほどの「このPC」から開くようになりました。



- ③ IEはストアアプリ版がなくてデスクトップ版のみです。タスクバーが常時表示されていて、タスクバーのボタンから起動します。

以上